

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 かく
①それ以上に ②あれこれと ③このように ④そんなに
- 2 さばかり
①口ばかり ②そうでない ③その程度 ④そういう意味
- 3 さながら
①そのまま ②どこでも ③そんなに ④どのくらい
- 4 しか
①そのように ②決して ③いつも ④少なくとも
- 5 つゆく打消
①ゆっくりくない ②少しもくない ③早くくない ④ほとんどくない

「B」次の文の(訳)の「 」「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 母、物語など求めて見せ給ふに、げにおのづから慰みゆく。(更級日記)
(訳) 母が、物語などを探して見せてくださるので、なるほど(母の思わくどおりに)「 」「心が晴れていく。」
①自分の ②すぐに ③なぜか ④自然に
- 7 散ればこそいとど桜はめでたけれ(伊勢物語)
(訳) (ただでさえ美しい上に) 散るからこそ「 」「桜はすばらしい。」
①いっそう ②逆に ③本当に ④やはり
- 8 なべての人に似ずをかし。(源氏物語)
(訳) 「 」「の人に似ないで風情がある。」
①普通 ②特別 ③周囲 ④以前
- 9 何をもちて、とかく申すべき。(竹取物語)
(訳) 何を理由に、「 」「申せましょうか。」
①そのように ②あれこれと ③とにかく ④すべて
- 10 まことにさにこそ候ひけれ。(徒然草)
(訳) 本当に「 」「でございしました。」
①そう ②もとのまま ③普通 ④すべて
- 11 鶯ばかりぞいっしか音したるを、あはれと聞く。(蜻蛉日記)
(訳) 鶯だけが「 」「鳴いたのを、しみじみと聞く。」
①早くも ②こっそり ③ますます ④いつの間にか
- 12 用ありて行きたりとも、その事果てなば、とく帰るべし。(徒然草)
(訳) 用事があったって行ったとしても、その事が終わったならば、「 」「帰るべきだ。」
①早く ②いったん ③きちんと ④いつかは
- 13 今は逃ぐとも、よも逃がさじ。(宇治拾遺物語)
(訳) 今はもう逃げようとしても、(相手は私を)「 」「逃がさ」「 」。
①今度こそくはないだろう ②まさかくはないだろう ③わざとくはないだろう ④当然くはないだろう
- 14 かの廂に敷かれたりし物は、さながらありや。(大和物語)
(訳) あの廂の間に敷かれていた物は、「 」「あるか。」
①どのくらい ②どこでも ③そのまま ④そんなに
- 15 立て籠めたる所の戸、すなはちただ開きに開きぬ。(竹取物語)
(訳) (かくや姫を) 閉じ込めてあった所の戸は、「 」「ただもうさつと開いてしまった。」
①すぐに ②つまり ③なぜか ④自然と

15 「
」

14 「
」

13 「
」

12 「
」

11 「
」

10 「
」

9 「
」

8 「
」

7 「
」

6 「
」

5 「
」

4 「
」

3 「
」

2 「
」

1 「
」

解答

【新二年生用】 古文単語330三訂版 P 1 3 4 } P 1 4 3

- 15 (①)
- 14 (③)
- 13 (②)
- 12 (①)
- 11 (①)
- 10 (①)
- 9 (②)
- 8 (①)
- 7 (①)
- 6 (④)
- 5 (②)
- 4 (①)
- 3 (①)
- 2 (③)
- 1 (③)